

五感で楽しむまち フォーラム

あなたは、五感に心地よい「まち」で暮らしていますか。
私たちの「まち」が、いつしか鉄やコンクリートで囲まれ、画一的な景観に変わっていく中で、
心地よい暮らしとは何なのか、という問い返しははじまっています。
緑の大地、心地よい風、花の香り。懐かしく響く、祭りの音。目にしみる、夕日の光景…。
涼しさ、あたたかさ、香り、音、光、味わい。
五感の魅力を発見し、地域の自然や伝統を守り育み、心地よい暮らしをふくらませている…。
そんなまちづくりの取組を集めました。そこから、何を大切に、どうやってその魅力を高めているのか、
まちに関わる皆さんと考えていきたいと思います。

開催日時	平成23年3月8日(火) 13時30分～16時30分(開場 13時)	
会場	新宿明治安田生命ホール (東京都新宿区西新宿1-9-1 明治安田生命新宿ビルB1F) http://meijiyasuda-life-hall.com/	入場無料 事前申込みが必要です
主催	環境省	
共催	東京商工会議所、社団法人 日本アロマ環境協会、NPO法人 日本エコツーリズム協会	
プログラム	開会挨拶 基調講演 「元気なまちづくりをめざそう・五感の再生」 進士 五十八 東京農業大学名誉教授/前学長、早稲田大学大学院客員教授 鼎談 「まちづくりでの“五感”の生かし方」 進士 五十八 東京農業大学名誉教授/前学長、早稲田大学大学院客員教授 桐谷 エリザベス フリージャーナリスト、NHKアナウンサー 山下 柚実 作家、五感生活研究所代表 五感で楽しむまち大賞/写真大賞表彰式 ●表彰状授与式 ●受賞者による取組紹介	
展示	●「五感で楽しむまち写真大賞」入賞作品 ●共催3団体紹介	

出演者
プロフィール
(敬称略)

進士 五十八(しんじ いそや)

東京農業大学名誉教授／前学長、早稲田大学大学院客員教授、五感で楽しむまち大賞審査委員長

1944年京都生まれ。現在、日本学術会議環境学委員長、国土審議会特別委員、(財)水と緑の惑星保全機構理事長ほか。日本農学賞、読売農学賞など受賞。紫綬褒章受章。

著書に『アメニティ・デザイナーほんとうの環境づくり』(学芸出版社)、『グリーン・エコライフ』(小学館)、『日本の庭園』(中公新書)ほか多数。

桐谷 エリザベス(きりたに えりざべす)

フリージャーナリスト、NHKアナウンサー

アメリカ・マサチューセッツ州ボストン出身。ホイートン大学卒業。ハーバード大学医学部で心臓と肺の研究を行うと同時に同大学附属病院で血液専門家として働く。

1979年、来日。現在は東京・台東区谷中に在住。全国、地方、地元の観光やまちづくりに関する各種委員会で活動中。著書『消えゆく日本』(丸善ブックス)で日本文芸大賞ルポライター賞を受賞。

山下 柚実(やました ゆみ)

作家、五感生活研究所代表、五感で楽しむまち大賞審査委員

1962年東京生まれ。早稲田大学第一文学部卒業。身体と社会との関わりに関心を持ち、美容整形、エイズ問題、五感などをテーマに取材し、ワークショップや講演活動を展開中。第一回小学館ノンフィクション大賞優秀賞。環境省「感覚環境の街作り検討会」委員。

著書に『客はアートでやってくる』(東洋経済新報社)、『<五感>再生へ』(岩波書店)、『都市の遺伝子』(NTT出版)、『五感で楽しむまちづくり』(学陽書房・共著)ほか多数。

【ユズジャーナル】<http://www.yuzumi.com/>

参加申込みについて

参加ご希望の方は、下記内容をご記入のうえ、3月4日(金)までに事務局宛にメール、ファックスまたは官製ハガキにてお申込みください。後日、事務局よりメール等にて「フォーラム参加証」をお送り致しますので、フォーラム当日受付までお持ちください。なおハガキの方には、事務局より別途ご連絡致します。

氏名(ふりがな)

住所(ご自宅以外の場合は、所属名もご記入ください)

〒

電話番号

FAX番号

E-mail

【送付先・お問い合わせ先】

社団法人 国際環境研究協会「五感で楽しむまちフォーラム」事務局

〒110-0005 東京都台東区上野1-4-4 TEL:03-5812-2105

FAX:03-5812-2106

E-mail: gokan-machi@airies.or.jp



アクセス

JR新宿駅西口・2分。西口地下道に出てロータリー左側にまっすぐ進むと100メートルほどで明治安田生命新宿ビルB2Fの入口があります。入口左側の階段を上がり、B1Fが新宿明治安田生命ホールのエントランスになります。

